

4. 呼称について（岡村 2014 より編集）

本稿	岡村秀典（2014）	車崎正彦（2002）	樋口隆康（1979）	梁上椿	孔祥星等	漢鏡時期
蟠螭文鏡	蟠螭紋鏡		蟠螭文鏡	蟠螭紋鏡	蟠螭紋鏡	一
渦状虺文鏡	渦状虺文鏡		七縁渦状虺文鏡	虺文鏡	蟠螭紋鏡	二
螭龍文鏡	螭龍紋鏡		螭龍文鏡	四乳四螭鏡		二
草葉文鏡	草葉紋鏡	草葉文鏡	草葉文鏡	草葉鏡	草葉紋鏡	二
七縁銘帶鏡	七縁銘帶鏡					二
家常貴富鏡			家常貴富鏡			
	連弧文縁銘帶鏡					二
星雲文鏡	星雲紋鏡	星雲文鏡	星雲鏡	星雲鏡	星雲鏡	三
重圈銘帶鏡	重圈銘帶鏡	重圈銘帶鏡	異體字銘帶鏡	重圈鏡	銘重圈鏡	三
連弧文銘帶鏡	連弧紋銘帶鏡	銘帶鏡	異體字銘帶鏡	内向連弧文鏡	連弧紋銘文鏡	三
単圈銘帶鏡	単圈銘帶鏡	銘帶鏡	異體字銘帶鏡	重圈小鏡	連弧紋銘文鏡	三
雲氣禽獸文鏡	雲氣禽獸紋鏡		虺龍文鏡	四乳四螭鏡	四乳四螭鏡	四
八禽鏡	八禽鏡	八禽鏡	八禽鏡	四乳八鳥禽帶鏡		四
方格規矩鏡 1	四神博局紋鏡	方格規矩鏡	方格規矩四神鏡	規矩式鏡	規矩紋鏡	四
細線式獸帶鏡	細線式獸帶鏡	細線式獸帶鏡	細線式獸帶鏡	禽獸帶鏡	多乳禽獸帶鏡	四
雲雷文帶連弧文鏡	雲雷紋帶連弧紋鏡	雲雷文帶連弧文鏡	内行花文鏡	雲雷連弧紋鏡	連弧紋鏡	五
盤龍鏡	龍虎鏡	盤龍鏡	盤龍鏡	龍虎鏡	龍虎鏡	五
浮彫式獸帶鏡	浮彫式獸帶鏡	浮彫式獸帶鏡	半肉彫獸帶鏡	禽獸帶鏡		五
画像鏡	画像鏡	画像鏡	画像鏡	画像鏡	画像鏡	六

双頭龍文鏡	双頭龍紋鏡	双頭龍文鏡	双頭龍鳳文鏡	夔鳳（双夔）鏡	夔鳳（双夔）紋鏡	六
凹帶連弧文鏡	蝙蝠紋座連弧紋鏡	凹帶連弧文鏡		連弧文鏡		六
八鳳鏡	八鳳鏡	八鳳鏡	夔鳳鏡	八鳳鏡	変形四葉紋鏡	七
獸首鏡	獸首鏡	獸首鏡	獸首鏡	獸首鏡	変形四葉紋鏡	七
飛禽鏡	飛禽紋鏡	飛禽鏡	飛禽鏡	飛鴻小鏡		七
環状乳神獸鏡	環状乳神獸鏡	環状乳神獸鏡	環状乳神獸鏡	放射式神獸鏡	環繞式神獸鏡	七
対置式神獸鏡	対置式神獸鏡	対置式神獸鏡	対置式神獸鏡	放射式神獸鏡	環繞式神獸鏡	七
求心式神獸鏡	求心式神獸鏡	求心神獸鏡	求心式神獸鏡	対列式神獸鏡	環繞式神獸鏡	七
画文帯同向式神獸鏡	同向式神獸鏡	画文帯同向式神獸鏡	画文帯同向式神獸鏡	階段式神獸鏡		七
画文帯同向式系神獸鏡 2		画文帯同向式系神獸鏡				七？
銘帯同向式神獸鏡 3						七
重列式神獸鏡	重列式神獸鏡	重列式神獸鏡	重列式神獸鏡	階段式神獸鏡	重列式神獸鏡	七
三段式神仙鏡	三段式神仙鏡	三段式神仙鏡	三段式神仙鏡	対列式神獸鏡		七
方銘獸文鏡	方銘獸文鏡		方銘獸文鏡	獸形方銘鏡		七
四葉四獸文鏡 4	画紋帯四獸鏡	画文帯四獸鏡				七？
四獸鏡		四獸鏡				七？
斜縁神獸鏡	斜縁神獸鏡	斜縁神獸鏡	斜縁二神二獸鏡	対列式神獸鏡		七
三角縁神獸鏡	三角縁神獸鏡	三角縁神獸鏡	三角縁神獸鏡			魏

*1「方格規矩鏡」で青龍と白虎が日・月を奉じる図（両方共に後足立ちし、両手と胸で日・月を抱く）のあるものだけを「方格規矩四神鏡」とした。その場合は四神と地支の方位が一致し、その図像も特色があり分離した。四神は必ず頭を右、尻を左に描く。つまり四神の方位と方向が固定化・定型化する。この特徴の他に（一部異なる）は2. 流雲文と十二地支を持ち、3. 十二地支の各文字の左右と上下に雲文か珠点がある。4. 内区は四神、四獣と小像と渦文で埋め尽くす。この中でも「L」上で蛙が二本足で立ち、両手を上に上げる図があり、この場合は全ての条

件が揃う。5. 白虎のV角対応図は騎鹿仙人である。6. 銘文はN a, L, k a, K bで第一句は「尚方」か「王氏」である。なお、上海博物館蔵の始建国天鳳二年(15)は十二地支と四神がある。地支と四神の方位が合うのは玄武だけで、他の三神は方位や向きが自由に配置しており、この図像とは異なる。

*2「畫文帶同向式系神獸鏡」は「畫文帶同向式神獸鏡」の神像一體以上が90°折れ曲がり、四乳に龍が廻る。この点から畫文帶同向式B式からの変化が考えられる。銘文はPの七言句しかない。注意が必要なのは、ここでは、同向式神獸鏡の退化したのも同じ「同向式系神獸鏡」と表示した。このため畫文帶同向式系神獸鏡を例示すると「集成02480」の一例だけである。

*3「銘帶同向式神獸鏡」は會稽山陰で建安年間後期に製作した鏡であり、「畫文帶同向式神獸鏡」の畫文帶を銘帶に変えたものとする。但し、上・下段の神仙像が双像で左右単像の六像式があり異なる。また、半円方形帯をもつものとなないものがある。

*4「四葉四獸文鏡」は新しく区分したものだが、従来は畫文帶四獸鏡や四獸鏡と呼ばれたものである。神獸鏡から別れたもので鈕座から少し離れて四か所+方向に(内区の銘帶部近く)まで大きく長い四葉を描く。この四葉間に靈獸を配置し、半円方形帯は神獸鏡と同じ作り方である。また畫文帶も神獸鏡と同じで有無の両方があり、銘文もS類が多く、神獸鏡と非常に似ている。

2006年版の銘文区分

表1. (紀年鏡銘)

紀Aa: 紀年+五月丙午、天下大赦、広漢西蜀、造作、尚方明竟、幽涑三商、周刻無極、.....

紀Ab1: 紀年+正月丙午、吾造作、尚方明竟(広漢西蜀)、合涑白黄、周刻無極、世得光明、買人大富、.....

紀Ab2: 紀年+正月丙午、幽涑三商、早作、尚方明竟、買者大富且、長宜子孫、延寿命長、.....

紀Ac: 紀年+吾作明竟自有方、白同清明復多光.....

紀B: 紀年+自有方(紀)、除去不羊宜古市、.....

紀E: 吾作明竟、幽涑宮商、周羅容象、五帝天皇、白牙單琴、黄帝除兇、朱鳥玄武、白虎青龍、君宜高官、位至三公、子孫番昌、紀年、朱氏造、大吉羊(直銘)君宜官: 君宜官

紀Da: 紀年+吾作明竟宜侯王、家有五馬千頭羊、.....

紀Db: 紀年+吾作明鏡宜公卿、家有五馬千頭羊、長生久寿、.....

紀Dc: 紀年+吾作明竟宜侯王、家富且貴、王有千万、長生久寿、.....

紀Ea: 紀年+太歳在丁巳、乾坤合化帝道始平、五月丙午時加日中、造作明竟、百涑青銅、服者万年、.....

紀 Eb：紀年＋某月某日、造作明鏡、百煉清銅、服者富貴、宜公卿、……

紀 Ec：紀年＋造作明鏡、可以詔明、服者老壽、作者長生、……

表 2. (非紀年鏡銘)

短 A：家常貴富

短 B：長（常）樂未央（長毋相忘）

短 C：君宜高官、（長宜官位）、（長宜高官）、（君宜高官）

短 D：長宜子孫（壽如金石、佳且好）

短 E：延年益壽（大樂未央）

短 F：宜子孫

短 G：壽如金石（佳且好、累世未央）

短 H：位至三公

短 I：長生宜子、（長孫宜子）、（長宜孫子）

短 J：君宜官位、（君宜官）

短 K：天王日月

A1：長（常）相思、毋相忘、常貴富、樂未央。

A2：脩相思、毋相忘、常（大）樂未央。

A3：願長相思、毋見忘。

B1：大樂貴富、得所好、千秋萬歲、延年益壽。

B2：大樂貴富、千秋萬歲、宜酒食。

C1：見日之光、天下大明（陽）、（服者君卿）

C2：見日之光、長毋相忘。

C3：久不相見、長毋相忘。

C4：久不見、侍前稀、君行卒（秋風立）、予志悲。

D：潔精白而事君、怨陰驩之舛明、彼玄錫之流澤、恐疎遠而日忘、懷靡美之窮鎧、外承驩之可說、慕窈窕之靈泉、願永思而毋絕。

E：內清質以昭明、光輝象夫日月、心忽揚而願忠、然壅塞而不泄。

F1：日有熹、宜酒食、長貴富、樂毋事。

F2：日有熹月有富、樂毋事宜酒食、居必安無憂患、竿瑟侍心志驩、樂已茂固常然。

F3：日有熹月有富、樂毋事常得意、美人會竿瑟侍、商市程万物平、老復丁死復生、醉不知醒旦星。

G：澗冶銅華以為鏡、照察衣服觀容貌、絲組雜邏以為信、清光平成宜佳人。

H：澗冶鉛華清而明、以之為鏡宜文章、延年益壽辟不羊、與天無亟而日月光、千秋萬歲長樂未央。

I：上太山見神人、食玉英飲灋泉、駕交龍乘浮雲、白虎引直上天、宜官秩保子孫。

J：〔角王巨虛日有熹〕、昭是明鏡人快意、左龍右虎四時置、長保二親樂無事、長宜子孫家大富、與君相保常相憶。

Ka：作佳鏡哉真大好、上有仙人不知老、渴飲禮泉飢啖棗、浮游天下救三海、壽如金石為國保。（註）旧版は「成独好」を使用した。

Kb：尚方作竟真大巧、上有仙人不知老、渴飲玉泉飢食棗、浮由天下救三海、俳回名山採芝草、壽如金石為國保。

Kc：王氏作竟真大好、上有仙人不知老、渴飲王泉飢食棗、浮游天下救四海、俳回名山采芝草、壽如今石之天保。

L：尚方作竟大毋傷、巧工刻之成文章、左龍右虎辟不羊、朱鳥玄武順陰陽、子孫備具居中央、長保二親樂富昌、壽敵金石如侯王。

Ma1a：漢有善銅出丹陽、取之為鏡清如明、左龍右虎備四旁、朱爵玄武順陰陽、八子九孫治中央。

Ma1b：漢有善銅出丹陽、和以銀錫清且明、左龍右虎主四彭、朱爵玄武順陰陽、八子九孫治中央。

Mb2a：新有善銅出丹陽、和以錫銀清且明、左龍右虎掌四彭、朱鳥玄武順陰陽、八子九孫治中央。

Mb2b：新有善銅出丹陽、澗冶銀錫清而明、尚方御竟大毋傷、巧工刻之成文章、左龍右虎辟不羊、朱鳥玄武順陰陽、子孫備具居中央、長保二親樂富昌、壽敵金石如侯王。

Mb2c：尚方御竟大毋傷、新有善銅出丹陽、澗冶銀錫清而明、巧工刻之成文章、左龍右虎辟不羊、朱鳥玄武順陰陽、子孫備具居中央、長保二親樂富昌、壽敵金石如侯王。

Na：王氏昭竟三夷服、多賀新家人民息、胡慮除滅天下復、風雨時節五穀熟、長保二親子孫力、伝告後世樂毋極。

Nb：某氏作竟四夷服、多賀國家人民息、胡虜殄滅天下復、風雨時節五穀熟、長保二親得天力。（傳告後世樂無極）

Nc：龍氏作竟四夷服、多賀君家人民息、胡羌除滅天下復、風雨時節五穀熟、官位尊顯蒙祿食。（長保二親樂無已）

Oa：黍言之始自有紀、澗冶銅錫去其宰、辟除不羊宜古市、長保二親利孫子。（註）旧版は「黍」字を使用した。

Ob1：黍言之紀從鏡始、蒼龍在左、白虎居右、長葆二親宜孫子。

Ob2：黍言之紀從竟始、澗治銅錫去其宰、以之為鏡宜孫子、長葆二親利孫子。

Ob3：黍言之紀從鏡始、長保二親和孫子、辟去不羊宜古市、壽如金石西王母、從今以往樂乃始。

Pa：青蓋作鏡自有紀、辟（除）去不羊宜古市、長保二親利孫子、為吏高官壽命久。

Pb：尚方作竟自有紀、辟（除）去不羊宜古市、上有東王父西王母、令君陽遂多孫子（令人長命不知老）。

P短：某氏作竟自有紀、（除）辟去不羊宜古市。

Pc：吾作明竟自有紀、令人長命宜孫子……（註）旧版は某氏作竟

Pd：某氏作竟自有紀、青龍白虎居左右……

Pe：青蓋作竟自有紀、（上有）東王公西王母、青龍在左、白虎居右、山人子喬赤誦子（長保二親宜孫子）。

Qa：尚方作竟佳且好、明而日月世少有、刻治今守悉皆在、（長保二親宜孫子）。

Qb：某氏作竟佳且好、明而日月世之保、……

Ra1：某氏作竟真大巧、上有東王父西王母、山人子高赤容子、……

Ra2：某氏作竟真大巧、東王公西王母、青龍在左、白虎居右、山人子高赤容子、……

Ra3：陳是作竟甚大好、上有王父母、左有倉龍右白虎、宜遠道相保。

Rb1：吾作明竟甚大巧、上有王喬及赤松、師子辟邪世少有、渴飲玉泉飢食棗、生如金石天相保。

Rb2：吾作明竟甚大巧、上有王喬及赤松、師子天鹿其舜龍龍、天下名好世無双。

Rc：陳是作竟甚大好、上有神守及龍虎、身有文章口銜巨巨、古聖人東王父西王母、渴飲玉湏飢食棗……………

Rd：吾作明竟、幽澗三商、配德君子、銅出徐州、配德君子、清而且明、左龍右虎、伝世右名、取者大吉、保子宜孫

Sa1：吾作明竟、幽澗三商、周刻無祉（極）、配像万疆、白牙奏樂、衆神見容、天禽並存、福祿是從、富貴安樂、曾年益壽、子孫番昌、其師命長。

Sa2：吾作明竟、幽澗三商、周刻無祉（極）、配像万疆、統德序道、敬奉賢良、白牙奏樂、衆神見容、天禽四守、銜持維剛、福祿是從、曾年益壽、子孫番昌、其師命長。

Sb：吾作明竟、幽澗三商、配像万疆、統德序道、敬奉賢良、周刻無祉、白牙奏樂、衆事主陽、福祿正明、富貴安樂、子孫番昌、賢者高顯、仕至

公卿、其師命長。

Sc：吾作明竟、幽涑三商、統德序道、配像万疆、曾年益寿、子孫番昌、(宜孫子)。

Sd：吾作明竟、幽涑三商、周刻万疆、四气象元、六合設長、举方秉員、通距虚空、統德序道、祇靈是興、白牙除樂、衆神見容、其師命長。

S 短：吾作明竟、幽涑三商・・・・

T：吾作明竟、幽涑宮商、周羅(刻)容象、五帝天皇、白牙弹琴、黄帝除兇、朱鳥玄武、白虎青龍、君宜高官、子孫番昌。

U：新作明竟、幽律三剛、銅出徐州、師出洛陽、彫文刻鏤、皆作文章、配德君子、清而且明、左龍右虎、伝世有名、師子×邪、取者大吉、保子宜孫。(×印は脱落文字を意味する)

V：青盖明竟以發陽、攬觀四方昭中英、朱鳥玄武師子翔、左龍右虎辟不詳、子孫備具居中英、長保二親樂未嘗。

W：某氏作竟自有道(紀)、明而日月世少有、(刻治分守悉皆在)・・・・

X：上方乍竟真大工、青龍白虎在左右、宜子孫。

Y：某氏作竟宜侯王、家當大富樂未央、子孫備具居中央、長保二親世世昌。

Z：新興辟雄建明堂、然于舉士列侯王、將軍令尹民戸行、諸生万舍在北方、子孫復具治中央。